

令和7年度 第2回 湖南広域休日急病診療所運営委員会議事録		
日 時	令和8年3月24日（火） 14時00分～15時00分	
会 場	湖南広域行政組合総合庁舎3階 市民防災ホール	
出席者	委 員	草津栗東医師会 新木委員、守山野洲医師会 松川委員、びわこ薬剤師会 有田委員、守山野洲薬剤師会 間下委員、滋賀医科大学 塚村委員、済生会滋賀県病院 平泉委員、淡海医療センター 藤井委員、済生会守山市民病院 野々村委員、市立野洲病院 前川委員、近江草津徳洲会病院 鈴木委員、草津保健所 川上委員、湖南広域消防局 角課長（代理）、守山市民代表 田中委員、栗東市民代表 太田委員、野洲市民代表 平田委員
	事務局	草津市 井上課長、守山市 遠山次長、栗東市 大橋課長、野洲市 高田課長、湖南広域行政組合 福山総務部長、救急医療事務局 藤江事務局長、山本副参事、辻主任
会 議 資 料		別添のとおり

- 1 開 会
事務局進行
運営委員会規則第4条第2項の規定により、半数以上の委員の出席により会議の成立を報告
- 2 委員および事務局の紹介
- 3 議 事
委員長が議長として議事進行

協議・報告事項（1） 令和7年度湖南広域休日急病診療所年末年始の診療状況等について

○委員長

本日の運営委員会の円滑な議事進行につきまして、委員の皆様方の御協力を賜りますようお願いいたします。

では、議事に入る前ではございますが、当委員会で発言された内容は、発言者や個人情報を除きまして、後日、組合のホームページに概要が掲出されますので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、協議・報告事項（1）令和7年度 湖南広域休日急病診療所年末年始の診療状況等について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

令和7年度湖南広域休日急病診療所の診療状況等について、資料1ページから6ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございました。ただ今事務局からの説明がございましたが、委員の皆様から御質問、御意見はございますか。

受診者数の推移でいきますと、全体的に令和6年度に比べると令和7年度は受診者数が減っていますが、11月と2月は少し増えています。これはインフルエンザの

ピークがそこに来たことであり、それを除きますと受診者数は減っている傾向になっております。何か御意見はございますか？

なければ次に進めさせていただきます。

協議・報告事項（２） 令和８年度の診療体制（案）について

○委員長

それでは、協議・報告事項（２）令和８年度の診療体制について事務局から説明をお願いします。

○事務局

令和８年度の診療体制について、資料７ページに基づき説明。

○委員長

ただ今事務局から、１から３まで説明がありましたが、それぞれ順番に皆様から御質問、御意見をいただきたいと思います。

まず１番目のオンコール体制の廃止について、以前はインフルエンザなどの抗原検査を年末年始以外の時期もやっておりました。１月になり大量の患者様が来られることがありオンコール体制を敷いてましたが、年末年始以外は抗原検査をしなくなりましたので、１月、２月に関してはオンコールで医師を呼ぶことがほとんどなく、ゴールデンウィークに関してもオンコールを呼ぶことはあまりなかったことから廃止させていただいたらいかがでしょうか。

特に御意見がなければ、１については、これでしていただくということをお願いします。

２番目につきましては、年末年始および冬期繁忙期に、小児科の後半２名のうち１名をオンコールに変更するという案なんです。これは滋賀医科大学から派遣をいただいていますので、滋賀医科大学の先生から御意見をお伺いしないといえなところ。年末年始の場合、結局患者さんの数は、内科患者様が６割、小児科患者様が３割から４割くらいになるので、内科は２名体制で最初から最後まで、小児科は前半２名、後半は２名のうち１人をオンコール体制に変更したらどうかという案ですが、滋賀医科大学の先生いかがですか。今は別にここで確実に決めるかどうかではありませんが。

○Ａ委員

ありがとうございます。今日この話をお伺いし、思いますところが幾つかございますので申し上げます。

１点目、純粹に人数という形であれば、内科の先生の方が御負担いただいているのは当然のことかと思いますが、小児はその特性上、診察に手間と時間がかかるという状況がございますので、患者数だけをもって小児科医の人数が多いというのは少し診療上問題が起こるのではないかと危惧いたします。

２点目、実際問題インフルエンザの流行期と年末年始が重なるかどうかによって忙しさと受診者数が大きく異なることは充分承知しておりますので、恐らく年末にかかる時期に今年の繁忙具合を推定して、今年は二人体制、今年は一人体制とおっしゃるのであれば特に問題はないと思いますが、オンコールという形になってしまった場合、結局何をもってそのオンコールを呼ぶのかという基準が非常に不明確となります。事前の判断になるのか、当日の受診者数であったり、当日担当している医師の判断だったり、何をもって判断するのが不明確であるといふところ、あとは時間帯やその患者様の重症度によって忙しさはめまぐるしく変化をする状況が想像できますので、今忙しいと思ってオンコールを呼んでも、オンコールが来られた

時には忙しさが過ぎ去っていったということもあり得ますので、オンコール体制ということに関しては滋賀医科大学としては承服し兼ねるというふうに考えます。

最後もう1点です。これは滋賀医科大学の事情になります。大学の特性上、年末年始の繁忙期は特に県内の他の病院様にも祝日、土日の応援を行っております。多い時には大学を含め1日あたり8～10人という形で勤務をしております。年末年始の連休になりますと、基本的に6日間でトータル60人もの年末年始の勤務体制を組んでいるという事情がございます。これに関しては、患者様の安全を踏まえまして、本来一人では夜間の診療や当直に出していない若手の医師にも応援を頼んで人数を賄っている事情がございます。これは、二人体制であるがゆえに経験年数が浅い医師と共に経験豊富な医師を配置することによって安心して診療をさせていただく形での二人体制とさせていただいておりますので、もしこれが一人体制になりましたら、若手に関しては年末年始は危険なので行っちゃいけないという話になり、診療自体が回せなくなります。そうなれば小児科から派遣が困難であるという事態にも陥りかねないかと思えます。こちらの教育や安心の体制の問題ではありますが、以上のことから、2番の改正案に関しましては、危惧することが多いというところで、滋賀医科大学としては現段階では反対とさせていただきたいと思えます。

○委員長

はい、ありがとうございます。ではB先生。

○B委員

小児科ではいつも休日診療所で滋賀医科大学にはお世話になっております。まあ休日診療所では小児科はありがたいことに、10時から12時まで一人で診察し、12時から滋賀医科大学の応援に来てもらって二人体制だとすごい安心感が違うんです。多少多くても診ることができる。それを年末年始にここは滋賀医科大学の先生が来てもらえますが、オンコールとなると正月の忙しいときに来るか来ないか分からないのをずっと3日間待機してもらうのは非常に可哀そうだと思うので、それなら最初から出勤という扱いにしてあげて、その方がいいかなと思うので、私としては全面的に滋賀医科大学のA先生の意見に賛成です。

○委員長

はい、ありがとうございます。他何かご意見ございますか。

○C委員

薬剤師のオンコール勤務を毎年やっておりまして、やはり自宅で待機するより現場に行って勤務する方がいいかと思えます。個人の意見ですが、やはり滋賀医科大学の先生がおっしゃるとおり、一人よりも二人の方が安心感がありますし、ましてや若手の先生とベテランの先生がタッグを組めばより安全な医療が確保出来ると思いますので、私も滋賀医科大学のA先生に同感いたします。

○委員長

ありがとうございます。他いかがでしょうか。大勢はそうになるかと思えます。確かにオンコールになっている方が有難いケースも中にはあるかも知れませんが、恐らくは半分以上の割合で呼ばれる事態になり、オンコールになると私個人的には思えます。

これ自体はこの場で決めることになるのですか。

○事務局

今日、決定していただけるようでしたら決定していただいても結構ですし、来年

度、6月、7月頃に同じように会議を計画しておりますので、そのタイミングで御決定いただいても構いませんので、可能な限りで検討いただければと思います。

○委員長

わかりました。そうしましたらこの件は実際出いただく滋賀医科大学の先生のお考えですので、そういう方向になろうかと思いますが、最終決定は今後の会議で決定することによろしいですね。2番に関しましてはそういう形にします。

それでは3番の年末年始の受付時間を30分前倒しするという件について、これは9時30分から受付しても、実際、受付したとたんに診察を始められないですね。

受付をしてカルテが出来上がって、カルテが回ってきて初めて診察が始まるというふうになるわけですので、9時30分に受付をした患者さんが診察に回るのはそれより何分か後になります。10時の時点で診療がスタートできる状況を作るための前倒しという考え方です。ですので今までだとどうしても朝の早い時間は診察する側の時間に無駄な部分が出てしまうということで、これを前倒しにしたいというところになっているのですが、これに関して何かご意見ございますか。

3番目はこれでよしということによろしいですか。

そうしましたら2番の件に関して、持ち越しという形にさせていただきます。
他何かご意見はありますでしょうか。

○D委員

年末年始と同等に今年もゴールデンウィークとシルバーウィークで5日間くらい休日が続くのですが、この間流行にもよりますが、検査は年末年始だけでいいかどうか？現場の意見は議論されているのですか。

○委員長

今の時点ではまだ議論されておられません。実際9月の連休時点で感染症の患者さんが発生するという事態が恐らくあまりなかったのも、今の時点では議論には入っておりません。また、診療体制の会議の中でそのあたりを議論したいと思います。

○D委員

例えばインフルエンザが流行っている時に、小児が発生しすぎた場合、逆に診療するドクターがプレッシャーを受けるのではないかと、負担が逆に増えたりしないのか。

○B委員

ゴールデンウィークは例年通りで、9月が確か土曜日入れたら5連休ですね。今まで診療した経験では9月は感染者が一番少ない時なので、まあコロナが流行った年は夏でも流行っていましたが、そういうことがない限り、今の現状だったら9月に何か流行するという心配はしていないのであまり不安はないと思います。

○D委員

流行によっては柔軟に対応いただければと思います。

○C委員

補足になりますが、患者様が電話で事前に受付で受診したいと電話があつて、その時に事務の方が「ここではコロナやインフルの検査をしておりません」と回答しているのを聞いたことがあるのですが、事実ですよ。その時に「ドラッグストアで最近売っておりますので、そこで購入されてから事前検査して、それを写真に撮

って受診してください。」と聞いたことがあります。だから、繁忙期でない閑散期の日曜祝日はそのように対応していると思います。

○委員長

ありがとうございます。他何かご意見、大丈夫ですかね。
そうしましたら先に進めさせていただきます。

協議・報告事項（３） 令和８年度特別会計歳入歳出予算について

○委員長

続きまして、協議・報告事項（３）令和８年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

資料８ページから９ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございます。ただいまの特別会計歳入歳出予算について何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

○事務局

歳入のところですが、受診者数の減少に伴いまして負担金がかかなり高額になっております。そういったところも踏まえまして、来年度の診療体制の在り方につきまして、御検討いただく際の参考にしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長

懐事情もございますので、そういうところもちよっと詰めてくることになってくるとは思いますが…。
予算に関しましてはよろしいでしょうか。

○E委員

先ほどオンコールどうこうというお話は年度途中で検討するというお話ですが、予算的には予備費の中で対応していくという話ですか。

○事務局

来年度につきましては、負担金を増額していただいて、現在の診療体制が維持できる分の予算をお認めいただいているところでございます。

○E委員

今年度の予算を見積っている中で、先ほどオンコールを現場の方に常駐させるとかオンコールから変えるとかいうことは途中で検討すると言われていますが、その分の予算的な分は大雑把な話で言っているのかな。

○事務局

今年度と同等に、年末年始と冬季繁忙期の診療体制を継続した場合でも、診療が行える予算計上はさせていただきます。

○委員長

オンコールをやめる分で浮く分がありますし、案2の一人減らすことが無しになっても成り立つ予算と考えていいですね。

○事務局

そのようにご理解いただければと思います。

○委員長

受診者数が減ってきているという傾向があるので、ある程度人件費を減らしていくところを考えないといけない部分もありまして、ずっと呼ばれないところのオンコールに関して先ほど言っていた1、2、3のうちの1番目ですね、それを無くしましょうということで、そこにもお金が出ていましたので、その分は無しになります。2番目の件に関しては、持ち越しにしましたが、それも今年度に関して年末年始とは昨年度よりも日数が少ないですから、その分でかかる人数も今年度に比べ少なくなりますので、その部分は大丈夫な形で予算組みになっていると考えていただければと思います。ご心配いただきありがとうございます。大丈夫ですかね。

そうしましたら、この予算案に関しましてはこの形でということで。

はい、どうぞ。

○F委員

負担額が4市ですごく値上がりしますが、この4市の割合はどのようになっていますか。

○事務局

すべての負担額を4市で、均等割30パーセント、残りの70パーセントにつきましては、利用率割ということで診療所をご利用いただきました受診者数によって4市を割振りしている状況でございます。金額をお答えさせていただく必要はございますか。

○F委員

金額が大きく出ていましたので、その辺の内訳が知りたいと思っただけです。

○委員長

よろしいですか。ありがとうございます。

そうしましたら予算の件に関しましてはこのような形となります。

その他 (1) 受診予約について

○委員長

受診予約について事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料9ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございます。受診予約のシステムを導入することを検討しているところですけど、今の説明に対して御意見とか御質問はございますか。

○B委員

非常にいいシステムだと思いますが、この間も聞いたかもしれませんが、インタ

ーネット予約の受付開始は9時30分から開始でいいですかね。終了は受付終了時間までか、それとも30分前にネット予約は終わるとか考えていますか。

○事務局

システムの業者に確認いたしましたところ、インターネット等による予約を実施する時間帯はこちらの方で設定できるという回答を得ましたので、10時から始めまして、受付終了時刻よりも少し前の21時か20時30分までといったような形で考えているところでございます。予約受付の時間帯につきましては、予約診療を御了承いただきました後に、御検討いただければと考えております。

○B委員

ありがとうございます。

○委員長

他いかがでしょうか。ご質問、ご意見とか。

○G委員

予約システムの質問ですが、ホームページの改修に併せて出来るものですか。患者さんからは待ち人数とかも見られるというものを考えておられるのですか。

○事務局

現在、当行政組合のホームページから受付システムの業者のページにアクセスができて、現時点でも、診療の待ち人数が、御確認いただけます。ですので、そのシステム業者のページを使用して受付をしていただいて、受付の順番の確認をしていただけるということになります。

○G委員

あと、繁忙期等の利用については恐らくこれから検討していかれると思うのですが、インターネット予約の上限とか考えておられるのですか。

○事務局

今年度につきましても受診者数が変動しておりますので、今すぐ御回答できる状況ではございません。小児科につきましては、管内の小児科の先生方のところでも比較的インターネット予約をされているところが多いというふうにお伺いしておりますので、小児科につきましては多めの設定をしたいと思ひますし、内科につきましても半分程度またはそれ以下で出来ればと考えております。またそのあたりにつきましても御相談をさせていただきたいと考えております。

○G委員

ありがとうございます。

○委員長

ありがとうございます。他に何か御意見はございますか。

始めてみないとわからない部分が結構出てくると思ひます。ただインターネット予約がいっぱいですとなった時に、受診できませんという受け取り方にはならないようには徹底したいと考えております。上限を決めるにしても、行けば診てもらえるということにしないといけないと思ひます。他の地域の休日診療所では人数を切っているところもありますので、そういった形にはならないような形を構築していただければと思ひます。

受診予約に関しましてはこの形で進めさせていただいて、8月～10月あたりから始めてみて、年末年始の本番に向けて体制を作っていきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

その他 （２）その他

○委員長

事務局、何かございますか。

○事務局

特にございません

○委員長

委員の皆様、その他御検討いただきたいことはございませんか。

○B委員

薬局の方にお伺いしたいのですが、ビオフェルミンが足りないと言われていますが、今、薬の供給状況はいかがですか。相変わらずメジコンなども入ってこない気がします、いかがでしょうか。

○C委員

整腸剤に関しては、ビオフェルミン錠剤と小児用のビオフェルミン細粒は、3社に確認したところ出荷調整が続いているみたいで入手しづらい状況です。診療所の在庫把握は出来ていませんが、薬剤師はないと言っていましたか。

○B委員

いろいろ使い分けてくださいとか、一つのメーカーだけでなくバラけさせて下さいと頼まれています。

○C委員

比較的ビオフェルミンは薬価が安いので多めには在庫設定していたはずなのですが、在庫状況を見て何とかしたいと考えています。他のものに変えたとしても同じように出荷調整中です。

咳止めのメジコンに関しては、1社に確認したところ、昔からメジコン錠という咳止めを使っていました。当初コロナで手に入らなかったのですが、フスタゾール糖衣錠だったら入りますし、メジコン錠も徐々に回復していると聞いています。

○B委員

今の情勢を見ていて、光熱費、医療材料費が高騰する中、プラスチック、ビニール手袋などが欠品するのではないかとこの噂があって、注射器なども入手困難になってきているので、コロナ禍ほどではないけれど情勢が不安定なのですが、休日診療所の対応はどうですかね。

○事務局

新型インフルエンザ等発生時の業務継続計画を現在検討中ですが、以前に作成したものがございまして、在庫数をどれだけ確保しておくのか決められております。それに基づきまして購入はさせていただいておりますので、適宜新しいものを購入して入れ替えるといったような取り組みをさせていただいているところでございまして、現在のところ不足している状況ではありません。

○B委員

ありがとうございます。

○委員長

ありがとうございました。他に何か御意見はございませんか。

そうしましたら、折角ですので、市民代表でお越しにいただいている方に一言ずつ御意見をいただければと思います。

○F委員

何度か会議に出ておりますけど、今回初めて他の地域の資料を見せていただきましてありがとうございます。

○H委員

ありがたい形で診療所の運営をしていただきありがとうございます。今も話にありましたが、予約の関係につきましては診療所を受診される方への安心にも繋がりますので、色々課題があると思いますがよろしく願いいたします。

○E委員

先ほども発言させていただきましたが、物品の不足も出てきているとのことですので、よろしくお願いしたいと思います。

○委員長

ありがとうございました。それでは他ございませんでしたら、これで全て終了ですね。そういたしましたら、委員の皆様方、議事進行に御協力いただきありがとうございます。それでは事務局にお返しします。

○事務局

委員長、委員の皆様。本日は何かとお忙しい中、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。引き続き診療体制を維持しながら進めてまいりたいと思いますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上を持ちまして、令和7年度第2回湖南広域休日急病診療所運営委員会を終了いたします。

本日は誠にありがとうございました。